

創立39周年記念式 校長式辞（抜粋）

創立記念式は、これまでの山形一中の歴史を振り返り、良き伝統を受け継ぎながら、さらなる発展を誓い合う日です。本校創立当時の出来事や創立に関わった人々の思いにも触れながら、現在、そしてこれからの学校について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



先ほど斉唱した「新たなる」は、旧一中初代校長 渋谷忠太郎先生が詠われたもので、これからの日本や山形を創るであろう一中生が、毎日、生き生きと明るく活動している様子を見て、とてもうれしく思っていたことが伝わってきます。生徒数は 953 名でスタートし、1,000 人を越えた時期もありました。その後は徐々に減少し、現在に至っています。生徒数は減ってきてても、明るく誠実で何事にも意欲的に取り組む姿は少しも変わっていないと感じます。統合して数年後には、生徒会の呼びかけで新しい一中の歌が4つ作られました。皆さんが壮行式などで必ず歌う「その一瞬に」は、その中の一つです。歌の一節にある「われらがわれらが 一中生」に力を込めて歌っている皆さんの姿に、一中生であることを誇りに思っていることが感じられ、私はいつもうれしく思っています。

今年の一中は、「時を守り、場を清め、礼を正す」を行動指針として、当たり前前のことが普通にできる学校を目指しています。学習面では、とても真面目な態度で授業に臨んでおり、大学の先生から「妥協しないこだわりがあり、学習に粘り強く取り組んでいる」と褒めていただきました。生活面では挨拶運動に力を入れており、廊下ですれ違う時にも自分から挨拶をしてくれます。また、清掃時には床に膝をついて拭く姿が日常的に見られ、勤労意欲が旺盛です。対外的にも、県駅伝大会においては、全校応援の総力戦で臨み、男子は3年連続優勝、女子は3年連続入賞の5位という好成績で、全員で喜びを分かち合いました。他にも、山形市理科研究作品展で教育委員会教育長賞、山形市学校保健会表彰で優良校を受賞しました。個人では、陸上競技や水泳などを中心に県大会・東北大会・全国大会での活躍が見られ、文化面では子ども県展で県展賞、県愛鳥ポスターコンクールで県知事賞、県英語弁論大会スピーチの部で優勝しました。このような活躍は、本校が創立当時から大切にしてきた文武両道に頑張る校風が受け継がれているものであり、今後も大切にしていきたいものです。

一中同窓生は、県内・国内はもとより世界中で社会に貢献しています。皆さんにも、社会に貢献できる人になって欲しいと思います。その基盤をつくるためには、「ふるさとに誇りを持ち、学び続ける人間」になるよう努めることが大切です。また、人のために自分ができることはないかを考えることも大切です。学校は、国の制度などが変わることによって、新しい取組を行うことがあります。しかし、いつの世も、学校は生徒たちの元気な声であふれ、学習や部活動は勿論のこと、仲間との集団生活の中で、互いに刺激し合い高め合い、一人一人が成長する場であることに変わりはありません。学校の主役は生徒です。一中の仲間とともに、「一中生の誓い」を大切にし、更に活気のある学校づくりを進めていきましょう。「限りなき 前進めざせ 一中生」のスローガンにもあるように、皆さんのたゆまぬ活動によって、また新たな伝統を築いてくれることを期待して式辞といたします。

FF2018 合唱コンクール



【 第三学年合唱 】

10月27日（土）に市民会館で行われた合唱コンクールでは、各学級がこれまでの練習の成果を素晴らしいハーモニーとして発表してくれました。仲間とともに練習に励んだ過程は、どの学級にとってもかけがえのない成長の証となりました。当日、会場に足を運んでくださった地域・保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

東北中学校駅伝競走大会 男子準優勝

11月4日（土）に福島県あずま総合運動公園周回コースで東北中学校駅伝競走大会が行われ、山形一中男子チームが準優勝となりました。また、5区では細谷建斗さん（3年）が区間賞となりました。当日は、多くの皆様から応援に来ていただき本当にありがとうございました。

全国大会は12月16日（日）滋賀県野州市希望ヶ丘文化公園で実施されます。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



【準優勝した男子チーム】

生徒会引継式

11月15日（木）に生徒会引継式が行われました。これまで学校をリードしてきた3年生執行部から2年生の新執行部へと引き継がれ、新生徒会長の丸子実桜さん（2年）から決意が述べられ、一同、思いを新たにしました。



【新執行部のみなさん】

二一中生の誓い＝

私たちは「思いやりの心」・「感謝の心」を常に持ち生活します。

- ・相手の気持ちになって生活します。
- ・自分が言われたりされたりして嫌なことは絶対にしません。
- ・よいことをしてもらったら、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えます。
- ・ダメなことをしたり失敗したら、すぐに「すみません」と心から謝ります。
- ・小さなことにも感謝の気持ちを持ち、毎日元気に前進します。
- ・「自分でやる」と決めたことは途中でやめたりせず最後までやり通します。